



## CHAPTER 2

# IP アドレスで定義したサーバの IP アドレスの変更

- 「IP アドレスで定義したパブリッシャ サーバの IP アドレスの変更」 (P.2-1)
- 「IP アドレスで定義したサブスクリバ サーバの IP アドレスの変更」 (P.2-4)

ここでは、IP アドレスで定義したサーバの IP アドレスを変更する方法について説明します。



### 注意

IM and Presence クラスタにあるどのノードで IP アドレスを変更しても、プレゼンス サービスやその他のシステム機能が中断する可能性があります。また、IP アドレスの変更によって、ServerDown や SDLLinkOSS などの特定のアラームや警告が発生することや、バックアップサーバへの自動的なフェールオーバーが機能しなくなることもあり得ます。このような影響の発生が考えられるので、IP アドレスの変更は、定期的なメンテナンスの時間帯で実施する必要があります。

## IP アドレスで定義したパブリッシャ サーバの IP アドレスの変更

IP アドレスで各サーバを定義している場合に、パブリッシャ サーバの IP アドレスを変更するには、ここに示す手順を使用します。



### (注)

この手順を使用して、サブスクリバ ホストのパブリッシャ サーバを別のパブリッシャ サーバに変更することはできません。

### はじめる前に

- 「作業前のチェックリスト」 (P.1-1) を参照してください。
- パブリッシャ IP アドレスを変更する前に、サブスクリバ ノードの IP アドレスが変更されていること (必要な場合) を確認します。



### 注意

ゲートウェイ アドレスを変更する必要がある場合は、IP アドレスを変更する前に実行する必要があります。IP アドレスを最初に変更する場合は、IM and Presence サーバが即座に再起動するため、ゲートウェイを変更できません。

## 手順

- ステップ 1** Cisco Unified CM IM and Presence の管理から、パブリッシャ サーバで次の作業を実行します。
- [システム (System)] > [クラスタ トポロジ (Cluster Topology)] を選択します。
  - [クラスタ トポロジ (Cluster Topology)] ツリービューからパブリッシャ ノードを選択します。
  - [ノード設定 (Node Configuration)] セクションで、IM and Presence サーバの IP アドレスを変更します。
  - [保存 (Save)] を選択します。
- ステップ 2** Cisco Unified Communications Manager の管理から次の作業を実行し、パブリッシャ サーバ上で新しい IP アドレスを反映します。
- [システム (System)] > [アプリケーション サーバ (Application Server)] を選択します。
  - [サーバの検索と一覧表示 (Find and List Servers)] ウィンドウから [検索 (Find)] を選択し、サブスクライバ サーバを表示します。
  - 新しい IP アドレスがアプリケーション サーバのリストにあることを確認します。



(注) 新しい IP アドレスがサーバのリストにない場合は、先の手順には進まないでください。

- ステップ 3** 各サブスクライバ ノードで次のコマンドを入力し、クラスタにあるすべてのサブスクライバ ノードに、この IP アドレスの変更が複製されていることを確認します。

```
run sql select name,nodeid from ProcessNode
```

このコマンドの出力例を次に示します。

```
admin: run sql select name,nodeid from ProcessNode
name                nodeid
=====
EnterpriseWideData 1
10.3.90.21          4
10.3.90.5           2
```



(注) この IP アドレスが、クラスタにあるすべてのノードに複製されていない場合は、先の手順には進まないでください。

- ステップ 4** クラスタにある各サブスクライバ サーバの CLI で次の作業を実行することにより、サブスクライバ サーバごとにパブリッシャ サーバの IP アドレスを変更します。

- 次のコマンドを入力します。

```
set network cluster publisher ip new_ip_address
```

- Yes と入力して Enter キーを押します。サーバが自動的に再起動します。

- ステップ 5** CLI で次の作業を実行して、パブリッシャ サーバの IP アドレス、および必要に応じてデフォルト ゲートウェイの IP アドレスを新しいアドレスに変更します。

- 新しいデフォルト ゲートウェイのアドレスを必要とする別のサブネットにサーバを移動する場合は、CLI コマンド `set network gateway` を入力します。

次の出力が表示されます。

```
admin:set network gateway 10.53.56.1
```

```
WARNING: Changing this setting will invalidate software license
```

on this server. The license will have to be re-hosted.

Continue (y/n)?

b. **yes** と入力して Enter キーを押します。

c. パブリッシャ サーバの IP アドレスを変更するには、CLI コマンド **set network ip eth0 ip\_address netmask gateway** を入力します

このコマンドでは、サーバの新しい IP アドレスを *ip\_address* で指定し、サーバの新しいネットワーク マスクを *netmask* で指定します。

次の出力が表示されます。

```
admin:set network ip eth0 10.53.57.101 255.255.255.224 10.53.57.1
```

```
WARNING: Changing this setting will invalidate software license
on this server. The license will have to be re-hosted.
```

Continue (y/n)?

d. **yes** と入力して Enter キーを押します。



(注)

IM and Presence サーバのゲートウェイおよび IP アドレスの変更に加えて、スイッチを変更した場合は、サーバが自動的に再起動している間に以下の手順を実行します。実行しないと、起動時に IM and Presence スクリプトがネットワーク接続の確認に失敗する可能性があります。

- 再起動画面を確認する
- 古い IP アドレスに *ping -t* と入力する
- ping に失敗するようになったら、古いスイッチから接続を解除し、新しいスイッチに接続する

**ステップ 6** パブリッシャ ノードが再起動した後、次の CLI コマンドですべてのサブスクリイバ ノードを再起動します。

```
utils system restart
```

**ステップ 7** すべてのノードが正常に再起動した後、パブリッシャ ノードで次の CLI コマンドを実行して、レプリケーションをリセットします。

```
utils dbreplication reset all
```



(注) このコマンドの実行には最大 15 分かかります。

**ステップ 8** `utils dbreplication reset all` コマンドが完了した後、次の CLI コマンドでパブリッシャ ノードを再起動します。

```
utils system restart
```

**ステップ 9** パブリッシャ ノードが再起動した後、次の CLI コマンドでクラスタ内のすべてのサブスクリイバ ノードを再起動します。

```
utils system restart
```



(注) クラスタにある複数のサーバの IP アドレスを変更するには、次の作業を実行します。

- 1 台のサーバの IP アドレスを変更します。
- クラスタをリブートします。
- レプリケーションのステータスを確認します。

変更した IP アドレスが正しく反映されている場合は、次のサーバで同じ手順を実行します。反映されていない場合は、他のサーバの IP アドレスを変更しないでください。

#### 関連トピック

- 『Disaster Recovery System Guide』
- 『Cisco Unified Communications Operating System Administration Guide』

#### 次の作業

[「変更後の作業リスト」\(P.6-1\)](#)

## IP アドレスで定義したサブスクライバサーバの IP アドレスの変更

IP アドレスで各サーバを定義している場合にサブスクライバサーバの IP アドレスを変更するには、ここに示す手順を使用します。IP アドレスを正しく変更するには、この手順のすべての作業を完了する必要があります。

2 つ以上のサブスクライバサーバの IP アドレスを変更する場合は、次の作業を実行することを推奨します。

- 一度に 1 つのサーバの IP アドレスを変更します。
- パブリッシャサーバも含め、クラスタにある他のすべてのサーバを再起動し、データベース関連の設定ファイルを含むローカル名前解決ファイルを更新します。



#### 注意

注意：2 つ以上のサーバの IP アドレスを同時に変更すると、クラスタ内のローカル名前解決ファイルの同期が失われる可能性があるため、2 つ以上のサーバの IP アドレスを同時に変更しないでください。

#### はじめる前に

[「変更後の作業リスト」\(P.6-1\)](#)



#### 注意

ゲートウェイアドレスを変更する必要がある場合は、IP アドレスを変更する前に実行する必要があります。IP アドレスを最初に変更する場合は、IM and Presence サーバが即座に再起動するため、ゲートウェイを変更できません。

## 手順

- ステップ 1** Cisco Unified CM IM and Presence の管理から、サブスクリバサーバで次の作業を実行します。
- [ システム (System) ] > [ クラスタ トポロジ (Cluster Topology) ] を選択します。
  - [ クラスタ トポロジ (Cluster Topology) ] ツリービューからパブリッシャ ノードを選択します。
  - [ ノード設定 (Node Configuration) ] セクションで、IM and Presence サーバの IP アドレスを変更します。
  - [ 保存 (Save) ] を選択します。

- ステップ 2** Cisco Unified Communications Manager の管理から次の作業を実行し、サブスクリバサーバ上で新しい IP アドレスを反映します。
- [ システム (System) ] > [ アプリケーションサーバ (Application Server) ] を選択します。
  - [ サーバの検索と一覧表示 (Find and List Servers) ] ウィンドウから [ 検索 (Find) ] を選択し、サブスクリバサーバを表示します。
  - 新しい IP アドレスがアプリケーションサーバのリストにあることを確認します。



(注) 新しい IP アドレスがサーバのリストにない場合は、先の手順には進まないでください。

- ステップ 3** 次の CLI コマンドを入力して、クラスタにあるすべてのノードに IP アドレスの変更が複製されていることを確認します。

```
run sql select name,nodeid from ProcessNode
```

このコマンドの出力例を次に示します。

```
admin: run sql select name,nodeid from ProcessNode
name          nodeid
=====
EnterpriseWideData 1
10.3.90.21     4
10.3.90.5     2
```



(注) この IP アドレスが、クラスタにあるすべてのノードに複製されていない場合は、先の手順には進まないでください。

- ステップ 4** 必要に応じて、クラスタにあるすべてのサブスクリバ ノードで、ステップ 1 ~ 3 を繰り返します。

- ステップ 5** 次の作業を実行して、サブスクリバサーバの IP アドレスとデフォルトのゲートウェイ (必要な場合) の IP アドレスを新しいアドレスに変更します。

- 新しいデフォルト ゲートウェイのアドレスを必要とする別のサブネットにサーバを移動する場合は、CLI コマンド `set network gateway` を入力します。

次の出力が表示されます。

```
admin:set network gateway 10.53.56.2
```

```
WARNING: Changing this setting will invalidate software license
on this server. The license will have to be re-hosted.
```

```
Continue (y/n)?
```

- yes** と入力して Enter キーを押します。
- サブスクリバサーバの IP アドレスを変更するには、CLI コマンド `set network ip eth0 ip_address netmask gateway` を入力します

このコマンドでは、サーバの新しい IP アドレスを `ip_address` で指定し、サーバの新しいネットワーク マスクを `netmask` で指定します。

次の出力が表示されます。

```
admin:set network ip eth0 10.53.57.101 255.255.255.224 10.53.57.1
```

```
WARNING: Changing this setting will invalidate software license  
on this server. The license will have to be re-hosted.
```

```
Continue (y/n)?
```

- d. **yes** と入力して Enter キーを押します。

---

### トラブルシューティングのヒント

IM and Presence サーバのゲートウェイおよび IP アドレスの変更に加えて、スイッチを変更した場合は、サーバが自動的に再起動している間に以下の手順を実行します。実行しないと、起動時に IM and Presence スクリプトがネットワーク接続の確認に失敗する可能性があります。

- 再起動画面を確認する
- 古い IP アドレスに `ping -t` と入力する
- ping に失敗するようになったら、古いスイッチから接続を解除し、新しいスイッチに接続する

### 関連トピック

- 『*Disaster Recovery System Guide*』
- 『*Cisco Unified Communications Operating System Administration Guide*』

### 次の作業

[「変更後の作業リスト」\(P.6-1\)](#)